



はばたけ！ 矢上っ子

子どもが、保護者が、地域が、そして職員が誇りに思える学校を目指す

長崎市立矢上小学校

令和4年6月21日

校長 中野孝之

第4号



応援 ありがとうございます

心配された天気も嘘のように晴れ渡り、矢上小学校の運動会が実施されました。今回も縮小された形にはなりましたが、地域の方も招待することができ、たくさんの保護者の皆さんの応援をいただき、子ども達も練習の成果を発揮できたのではないのでしょうか。練習時から当日に至るまでのサポートありがとうございました。



応援団長お疲れさまでした



プール清掃&プール開き

6月3日（金）に6年生がプールの清掃を行ってくれました。前日までに水を抜き、プールの床や側面、プールサイドをデッキブラシ等で汚れをきれいに落としてくれました。これで、水泳学習の準備は万端です。6年生、ありがとうございました。



6月16日（木）水泳学習が始まりました。週はじめからスタートする予定でしたが、天気が悪かったり、水温、気温が上がらなかったりして、この日の4年生が今年のスタートとなりました。最初は水慣れと泳力調査を行いました。天気は良かったのですが、プールに入るときは、寒さを感じていたようでした。しかし、そこは矢上小学校の子、すぐに慣れ元気に活動していました。

おしらせ



【マスク着用について】

ここ数日の報道でもご承知の通り、夏季における児童のマスク着用について国の方針をうけて、教育委員会から連絡がありました。現在の矢上地区および矢上小学校の感染状況や登下校の様子を鑑みて、以下の2点で指導を行っていきます。

- (1) 熱中症対策を優先する。
- (2) 基本的な感染症対策（三蜜の回避、手指の衛生、換気等）は今後も行っていく。

具体的には、

- ①熱中症は命に係わる重大な問題として、各学年の発達段階に応じた指導を行う。
- ②体育の授業時は、マスクを外す。体育時の話し合い活動においては距離を確保して行う。
- ③登下校については、距離が確保できている場合は、マスクを外す。
- ④屋外の活動においては、距離をとる、おしゃべりをしない等の手立てを打ってマスクを外す。
- ⑤室内での活動は、マスク着用を原則とするので、熱中症計を活用しながら、水分の補給や換気、室温の管理に注意する、等です。

※ 前号でも、述べましたが、様々な事情により、マスクを外すことに抵抗がある方、逆にマスクを着用するのに抵抗がある方がおられることをご理解いただき、（特に登下校については）ご家庭でもお子様と話をされてください。

【長崎っ子の心を見つめる教育週間】

矢上小学校では、6月25日(土)から「長崎っ子の心を見つめる教育週間」が始まります。今年で19年目になるこの取組は、心豊かな長崎っ子の育成を目指して、県内すべての小・中学校・高校で実施されています。たくさんの目で子どもたちを見守り、「命を大切にできる」「夢や志をもてる」ような子どもを育てましょうという啓発の週間です。保護者・地域・学校が手を携えて子どもたちを見守る活動の一環として、お時間の許す限りご来校いただければ幸いです。

科学館・原爆資料館見学

6月14日(火)5年生は、長崎市科学館・原爆資料館へ見学に行きました。あいにくの空模様でしたが、科学館ではいろんな展示物やプラネタリウムに触れ、原爆資料館では、戦争の悲惨さや平和の尊さについて学習してきました。これから調べたことをまとめ8月9日の平和集会では平和の大切さについて、全校に発表してくれる予定です。5年生の視点で、今回の見学をどのように発表してくれるのか、楽しみです。

